

社会資本総合整備計画 事後評価

貝塚駅周辺地区におけるまちづくり

令和4年1月
福岡市住宅都市局
九大まちづくり推進部
九大跡地整備課

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 事後評価シート

令和4年1月25日

計画の名称	貝塚駅周辺地区におけるまちづくり		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (令和3年度)	(5年間)	交付対象
計画の目標	福岡市		

福岡市は九州大学の伊都キャンパスへの移転に伴い、箱崎キャンパス跡地一帯のまちづくりの検討を進めている。検討では「①新たな活力・交流を生み出す」、「②充実した教育・研究の環境を生み出し、人を育てる」、「③安全・安心・快適で健やかに暮らす」、「④歴史文化資源を大切に」、「⑤環境と共生し、持続可能なまちをつくる」といった5つのまちづくりの方針を掲げ、多様な機能を持ち、周辺地域と一体的に発展を続ける100年後の未来に誇れるまちづくりを目指している。

また、跡地一帯のまちづくりは、広大な敷地で新たなまちづくりを行うことができる強みを活かし、最先端の技術革新により快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出する「FUKUOKA Smart EAST」として福岡市の進める先進的なまちづくりの取組みのひとつとして位置づけられている。

このような中、跡地の一部を含む貝塚駅周辺地区においては、脆弱な都市基盤の解消、交通結節機能の強化、公共施設の再配置が必要であり、一体的な都市基盤整備が求められている。よって、本計画では貝塚駅周辺地区において土地区画整理事業をはじめとした総合的な都市基盤整備を行い、跡地一帯の良好なまちづくりの実現に寄与することを目標とする。

計画の成果目標 (定量的指標)			
-----------------	--	--	--

- ・地区及び地区周辺 (概ね500m) の新築建物棟数について、平成29年度から平成33年度の累計で90棟を新築する。
- ・環境負荷低減に関する取組み件数について、平成33年度までに5件を計上する。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31(R1)末)	最終目標値 (H33(R3)末)							
・建築確認申請を調査し、地区及び地区周辺 (概ね500m) にかかる町丁目内のH29からH33までの新築建物棟数の累計を計測する。 (対象町丁目: 東区箱崎5丁目、6丁目、7丁目、筥松3丁目、4丁目、箱崎ふ頭2丁目、3丁目、貝塚団地)	0棟	—	90棟							
・土地区画整理事業の事業計画等に反映した環境負荷低減に関する取組みの件数を計上する。	0件	—	5件							
全体事業費	合計 (A+B+C)	305百万円	A	305百万円	B	—	C	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	— %

事後評価											
○事後評価の実施体制、実施時期						事後評価の実施時期					
事後評価の実施体制						令和3年11月					
福岡市公共事業再評価等監視委員会において実施						公表の方法					
						福岡市ホームページに公表					

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況
									H29	H30	H31(R1)	H32(R2)	H33(R3)		
A-1	都再区	一般	福岡市	直接	福岡市	都市再生事業計画案作成事業	都市再生区画整理事業	福岡市						170	
A-2	都再区	一般	福岡市	直接	福岡市	貝塚駅周辺地区	面積 約23.4ha	福岡市						135	
小計												305			
合計												305			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	H31(R1)	H32(R2)	H33(R3)		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	H31(R1)	H32(R2)	H33(R3)		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 海岸名・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31(R1)	H32(R2)	H33(R3)		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>土地区画整理事業の事業計画を策定することによって、貝塚駅周辺地区におけるまちづくりへの期待が高まり、新築建物棟数の増加につながった。 また、区画整理事業の各種工事に先立ち、工事実施時における環境への配慮事項や都市基盤整備における環境負荷低減に資する仕様を整えることによって、今後の環境負荷低減に向けた取組みがより確実なものとなった。</p>
--	---

II 定量的指標の達成状況	当初現況値	最終目標値	最終実績値	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
<p>指標① 地区及び地区周辺(概ね500m)の新築建物棟数</p>	<p>0棟</p>	<p>90棟</p>	<p>88棟^{※1} (103棟^{※2})</p>	<p>令和3年10月末時点の新築建物棟数の累計は88棟^{※1}であるが、令和3年度末では103棟^{※2}となり目標値(90棟)を達成見込み。 過去5年(平成24年度から平成29年度)の累計(91棟)と比べても大きく鈍化することなく推移しており、貝塚駅周辺地区におけるまちづくりへの期待からの増加とみなすことができる。 ※1:平成29年度から令和3年10月末までの建築確認申請の提出件数 ※2:平成29年度から令和3年度末時点の建築確認申請の提出見込み件数</p>
<p>指標② 環境負荷低減に関する取組み件数</p>	<p>0件</p>	<p>5件</p>	<p>—^{※3} (5件)</p>	<p>※3:「九州大学箱崎キャンパス跡地等の基盤整備事業 環境影響評価書(令和2年4月)」において、同事業の工事実施にあたっては、環境負荷軽減の取組みとして「建設機械の低燃費型の使用」や「建設機械の低炭素型の使用」、「環境、生態系保全に配慮した公園整備」を位置づけ、工事実施時における環境への配慮事項を明確に担保した。 また、「福岡広域都市計画事業 貝塚駅周辺土地区画整理事業 事業計画書(令和3年)」において、都市基盤整備における環境負荷軽減の取組みとして「透水性舗装」や「排水性舗装」による整備を踏まえた事業計画を策定した。</p>

<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)</p>	<p>土地区画整理事業の事業計画策定によって、脆弱な都市基盤の解消や交通結節機能の強化、公共施設の再配置などの一体的な都市基盤整備がより確実なものとなった。また、令和3年度に地質調査、換地設計、道路造成等詳細設計等を実施しており、今後の工事内容やスケジュールがより明確化する見込みである。</p>
--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

「貝塚駅周辺地区」は、対象地区面積約23.4haの広大な敷地で新たなまちづくりを行うことができる強みを活かし、最先端の技術革新により快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出する未来に誇れるモデル都市「FUKUOKA Smart EAST」を掲げ、福岡市の進める先進的なまちづくりの取組みのひとつとして期待されている。
今後も引き続き、「九州大学箱崎キャンパス跡地グランドデザイン」を踏まえながら、「FUKUOKA Smart EAST」の実現に向けて、都市再生土地区画整理事業の推進に取り組んでいく。